

目 次

《特別寄稿》

- 丸山眞男先生の平和思想 ゼミ生としての想いに重ねて
(第一九回 丸山眞男文庫記念講演会 2019.12.7)
.....堀尾 輝久 (1)
- 脱・近代教育学・批判の方法
—フロイトから自然学の無神論的契機に及ぶ—.....宮澤 康人 (27)

《研究論文Ⅰ》

- 教育的関係における受動的かつ非主題的な身体性の意義：
〈おのずと伝わること〉に関する現象学的一考察大塚 類 (39)
- 能力で隠される力
—先導する象る力田中 智志 (49)

《対談》

- 教育におけるポピュリズムと政治
.....山本 圭・小玉 重夫 (67)

《研究論文Ⅱ》

- 占領期文部省における生徒会論の成立過程に関する一考察
—戦後公民教育構想から『新しい中学校の手引』まで—猪股 大輝 (81)
- ジュディス・バトラーとマーサ・ヌスバウムの「女性」と「身体」論の異同
.....大瀧 辰也 (93)
- 1980年代における養護教諭の専門性の検討
—日本学校保健学会の共同研究を中心に—柏木 陸月 (105)
- 前期ウイトゲンシュタインにおける「語りえないもの」
—論理と倫理に共通するもの—清野 正義 (117)
- 「働き方改革」から考える「シティズンシップ教育」
—ハンナ・アレント『活動的生』を手がかりに—高田 春奈 (129)
- 保育における「共同」の可能性
—アトム共同保育所を手がかりにして—高橋 沙希 (141)
- 長田新の学科カリキュラム論における主体に関する考察
—生活・ヒューマニズム・道徳教育に着目して—田邊 尚樹 (153)
- 牛山榮世による「ひとりひとり」に応じた教育の追究
.....久島 裕介 (165)
- 範列分析による二項対立概念の検討
—議論教育論の礎として—久島 玲 (177)
- シティズンシップ教育における「市民としての行為主体性」概念の再検討
—ハリー・ポイトとガート・ピースタの議論を手がかりに—藤枝 聡 (187)
- 西多摩プランの開発過程における討議と協力
.....前田 智成 (197)

ヴァイマル期ドイツ社会教育・民衆教育における教養理念 フリットナー素人教養論争の再検討と共通基盤の解明	松井 健人 (207)
植民地期朝鮮の初等歴史教科書における「内鮮事歴」の内容検討 (Ⅱ) —明治時代から敗戦までの記述分析を中心に—	柳 準相 (217)

《書評》

西平直著『ライフサイクルの哲学』—教育人間学の「作法」について—	川上 英明 (231)
生澤繁樹『共同体による自己形成—教育と政治のプラグマティズムへ—』	中西 亮太 (235)
小国喜弘編『障害児の共生教育運動 養護学校義務化反対をめぐる教育思想』	森 和宏 (239)

《ゼミ動向》 (243)

[大学院]	総合演習／小玉ゼミ／田中ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ ／片山ゼミ／大塚ゼミ
[学部]	教育人間学演習／教育臨床学演習／日本教育史演習／ 教育と人間形成／価値と教育Ⅳ／教育の臨床現象学

《研究会動向》

「大田教育学研究会」の活動報告と展望	(267)
--------------------------	-------

《学位論文一覧》 (269)

* 研究論文Ⅱは査読付き。